



# 設置とセットアップ

## Install and maintain

NetApp  
February 20, 2026

# 目次

設置とセットアップ	1
インストールと設定のワークフロー- AFF A1K	1
インストール要件- AFF A1K	1
設置に必要な機器	2
吊り上げ時の注意事項	2
インストールの準備- AFF A1K	3
ステップ1：サイトを準備する	3
手順2：箱を開封する	3
手順3：ストレージシステムを登録する	4
ハードウェアの設置- AFF A1K	5
ハードウェアのケーブル接続- AFF A1K	6
手順1：クラスタ/ HAをケーブル接続する	7
手順2：ホストネットワーク接続をケーブル接続する	9
手順3：管理ネットワークをケーブル接続する	10
手順4：シェルフをケーブル接続する	10
ストレージ・システムの電源をオンにします（AFF A1K）	15
手順1：シェルフの電源をオンにしてシェルフIDを割り当てる	15
手順2：コントローラの電源をオンにする	17

# 設置とセットアップ

## インストールと設定のワークフロー- AFF A1K

AFF A1Kシステムを設置して設定するには、ハードウェア要件を確認し、サイトを準備し、ハードウェアコンポーネントを設置してケーブル接続し、システムの電源をオンにして、ONTAPクラスタをセットアップします。

1

### "インストール要件を確認します"

ストレージシステムとストレージシェルフの設置に必要な機器と工具を確認し、持ち上げと安全に関する注意事項を確認します。

2

### "AFF A1Kストレージシステムをインストールする準備"

システムの設置を準備するには、設置場所を準備し、環境要件と電力要件を確認し、十分なラックスペースがあることを確認する必要があります。その後、機器を開梱して内容を納品書と比較し、ハードウェアを登録してサポートを利用できます。

3

### "AFF A1Kストレージシステムのハードウェアを設置"

ハードウェアを設置するには、ストレージシステムとシェルフ用のレールキットを設置し、ストレージシステムをキャビネットまたはTelcoラックに設置して固定します。次に、シェルフをレールにスライドさせます。最後に、ケーブル配線を整理するために、ケーブルマネジメントデバイスをストレージシステムの背面に取り付けます。

4

### "AFF A1Kストレージシステムのコントローラとストレージシェルフをケーブル接続"

ハードウェアをケーブル接続するには、まずストレージコントローラをネットワークに接続し、次にコントローラをストレージシェルフに接続します。

5

### "AFF A1Kストレージ・システムの電源をオンにする"

コントローラの電源をオンにする前に、各NS224シェルフの電源をオンにし、一意のシェルフIDを割り当ててセットアップで各シェルフを一意に識別し、ラップトップまたはコンソールをコントローラに接続してから、コントローラを電源に接続します。

6

ストレージシステムの電源を入れたら、"クラスタを設定する"。

## インストール要件- AFF A1K

AFF A1Kストレージシステムとストレージシェルフに必要な機器と、持ち上げる際の注

意事項を確認します。

## 設置に必要な機器

ストレージシステムを設置するには、次の機器および工具が必要です。

- ストレージシステムを設定するためのWebブラウザへのアクセス
- 静電放電 (ESD) ストラップ
- 懐中電灯
- USB /シリアル接続を備えたラップトップまたはコンソール
- No.2 プラスドライバ

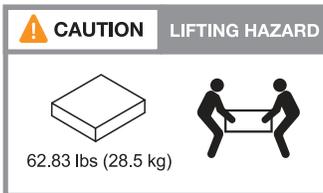
## 吊り上げ時の注意事項

ストレージシステムやシェルフは重い。これらのアイテムを持ち上げたり移動したりするときは、注意してください。

ストレージシステムノオモミ

ストレージシステムを移動または持ち上げるときは、必要な予防措置を講じてください。

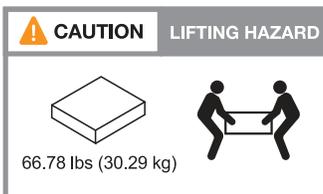
A1Kストレージシステムの重量は最大28.5 kg (62.83ポンド) です。ストレージ・システムを持ち上げるには、2人で作業するか、油圧リフトを使用します。



## シェルフの重量

シェルフを移動または持ち上げるときは、必要な予防措置を講じてください。

NS224シェルフの重量は最大30.29kg (66.78ポンド) です。シェルフを持ち上げるには、2人で作業するか、油圧リフトを使用します。シェルフの重量がバランスを崩さないように、すべてのコンポーネント（前面と背面の両方）をシェルフに保管してください。



## 関連情報

- ["安全に関する情報と規制に関する通知":a1k!](#)

## 次の手順

ハードウェア要件を確認したら、"[AFF A1Kストレージシステムを設置する準備](#)"

## インストールの準備- AFF A1K

AFF A1Kストレージシステムを設置する準備をします。設置場所を準備し、開梱して内容を納品書と比較し、システムを登録してサポートを利用します。

### ステップ1：サイトを準備する

ストレージシステムを設置するには、設置場所および使用するキャビネットまたはラックが構成の仕様を満たしていることを確認してください。

手順

1. を使用して "[NetApp Hardware Universe の略](#)"、サイトがストレージシステムの環境要件と電力要件を満たしていることを確認します。
2. ストレージシステム、シェルフ、およびスイッチ用のキャビネットまたはラックスペースが十分にあることを確認します。
  - 4U (HA構成)
  - NS224ストレージシェルフごとに2U
3. 必要なネットワークスイッチを取り付けます。

インストール手順および互換性情報については、を参照してください "[スイッチのドキュメント](#)" "[NetApp Hardware Universe の略](#)"。

### 手順2：箱を開封する

ストレージシステムに使用するキャビネットやラックが必要な仕様を満たしていることを確認したら、すべての箱を開封し、内容を納品書の項目と比較します。

手順

1. すべての箱を慎重に開き、内容を整理された方法でレイアウトします。
2. 開梱した内容を、納品書のリストと比較します。



梱包箱の側面にあるQRコードをスキャンすると、梱包リストを取得できます。

次の項目は、ボックスに表示される内容の一部です。

箱の中のすべてが納品書のリストと一致していることを確認してください。不一致がある場合は、それらをメモして、さらに対処してください。

* ハードウェア *	ケーブル	
------------	------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>• ベゼル</li> <li>• ケーブル マネジメント デバイス</li> <li>• ストレージシステム</li> <li>• 取扱説明書付きのレールキット (オプション)</li> <li>• ストレージシェルフ (追加のストレージを注文した場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理イーサネットケーブル (RJ-45ケーブル)</li> <li>• ネットワークケーブル</li> <li>• 電源コード</li> <li>• ストレージケーブル (追加のストレージを注文した場合)</li> <li>• USB-Cシリアルコンソールケーブル</li> </ul>
---	--

### 手順3：ストレージシステムを登録する

設置場所がストレージシステムの仕様要件を満たしていることを確認し、発注したパーツがすべて揃っていることを確認したら、ストレージシステムを登録する必要があります。

#### 手順

1. インストールする各コントローラのシステム シリアル番号 (SSN) を見つけます。

シリアル番号は次の場所にあります。

- 納品書に
- 確認メール
- 各コントローラのシステム管理モジュール

SSN: XXYYYYYYYYYY



2. に進みます "ネットアップサポートサイト"。
3. ストレージシステムの登録が必要かどうかを判断します。

ユーザのタイプとアクセス方法	実行する手順
NetAppの既存のお客様	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. ユーザ名とパスワードを使用してサインインします。</li> <li>b. [システム]&gt;[マイシステム]*を選択します。</li> <li>c. 新しいシリアル番号が表示されていることを確認します。</li> <li>d. そうでない場合は、NetAppの新規のお客様向けの手順に従います。</li> </ol>

ユーザのタイプとアクセス方法	実行する手順
NetAppの新規のお客様	<p>a. [今すぐ登録] をクリックしてアカウントを作成します。</p> <p>b. Systems &gt; Register Systems *を選択します。</p> <p>c. ストレージシステムのシリアル番号と要求された詳細を入力します。</p> <p>登録が承認されると、必要なソフトウェアをダウンロードできます。承認プロセスには最大 24 時間かかる場合があります。</p>

#### 次の手順

AFF A1Kハードウェアの設置の準備が完了したら、次の["AFF A1Kストレージシステムのハードウェアを設置"](#)作業を行います。

## ハードウェアの設置- AFF A1K

AFF A1Kストレージシステムの設置準備が完了したら、システムのハードウェアを設置します。まず、レールキットを取り付けます。次に、キャビネットまたはTelcoラックにプラットフォームを設置して固定します。

キャビネットにデータが事前に格納されている場合は、この手順をスキップします。



設置およびメンテナンス手順中は、検証済みの接地点に接続された接地リストストラップを常に着用してください。適切なESD予防措置に従わないと、コントローラーノード、ストレージシェルフ、およびネットワークスイッチに永久的な損傷が発生する可能性があります。

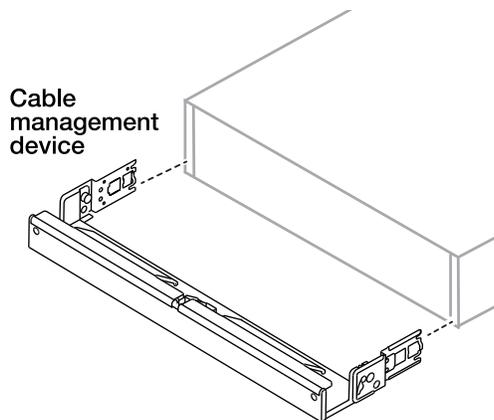
#### 作業を開始する前に

- レールキットに手順書が同梱されていることを確認します。
- ストレージシステムとシェルフの重量に関連する安全上の問題に注意してください。
- ストレージ・システム内の通気は'ベゼルまたはエンド・キャップ'が取り付けられている前面から入り'ポート'が取り付けられている背面から排出されます

#### 手順

1. キットに付属の手順書に従って、ストレージシステムとシェルフのレールキットを必要に応じて設置します。
2. キャビネットまたはTelcoラックにストレージシステムを設置して固定します。
  - a. キャビネットまたはTelcoラックの中央にあるレールにストレージシステムを配置し、ストレージシステムを下から支えて所定の位置にスライドさせます。
  - b. キャビネットまたはTelcoラックのガイドピンがシャーシガイドスロットに固定されていることを確認します。
  - c. 付属の取り付けネジを使用して、ストレージシステムをキャビネットまたはTelcoラックに固定します。
3. ベゼルのストレージシステムの前面に取り付けます。

4. ケーブルマネジメントデバイスをストレージシステムの背面に接続します。



5. 必要に応じてシェルフを設置して固定します。

- a. シェルフの背面をレールに合わせ、シェルフを下から支えてキャビネットまたはTelcoラックに挿入します。

複数のシェルフを設置する場合は、最初のシェルフをコントローラの真上に配置します。2台目のシェルフをコントローラの真下に置きます。シェルフを追加する場合は、このパターンを繰り返します。

- b. 付属の取り付けネジを使用して、シェルフをキャビネットまたはTelcoラックに固定します。

次の手順

AFF A1Kシステムのハードウェアの設置が完了したら、次の作業["AFF A1Kストレージシステムのハードウェアをケーブル接続"](#)を行います。

## ハードウェアのケーブル接続- AFF A1K

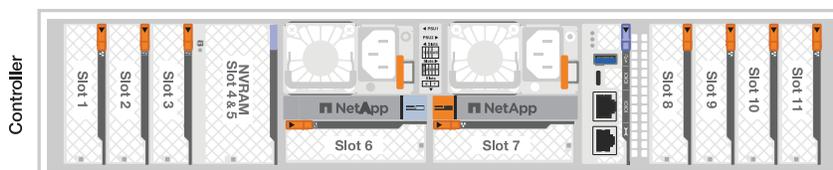
AFF A1Kストレージシステムのラックハードウェアを設置したら、コントローラにネットワークケーブルを接続し、コントローラとストレージシェルフの間をケーブルで接続します。

作業を開始する前に

ストレージシステムをスイッチに接続する方法については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

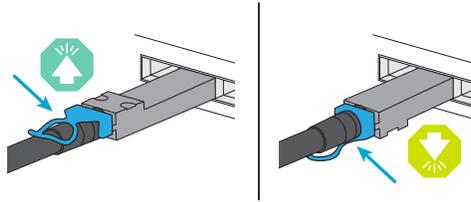
このタスクについて

- ここでは、一般的な設定について説明します。具体的なケーブル接続は、ご使用のストレージシステム用に注文したコンポーネントによって異なります。設定およびスロットプライオリティの詳細については、を参照してください ["NetApp Hardware Universe の略"](#)。
- AFF A1KコントローラのI/Oスロットには1~11の番号が付けられています。



- ケーブル配線図には、ポートにコネクタを挿入する際のケーブルコネクタプルタブの正しい方向（上または下）を示す矢印アイコンがあります。

コネクタを挿入すると、カチッという音がしてコネクタが所定の位置に収まるはずですが、カチッと音がしない場合は、コネクタを取り外し、裏返してもう一度試してください。



- 光スイッチにケーブル接続する場合は、光トランシーバをコントローラポートに挿入してから、スイッチポートにケーブル接続します。

### 手順1：クラスタ/HAをケーブル接続する

コントローラをONTAPクラスタにケーブル接続します。この手順は、ストレージシステムのモデルおよびI/Oモジュールの構成によって異なります。



クラスタインターコネクタトラフィックとHAトラフィックは、同じ物理ポートを共有します。

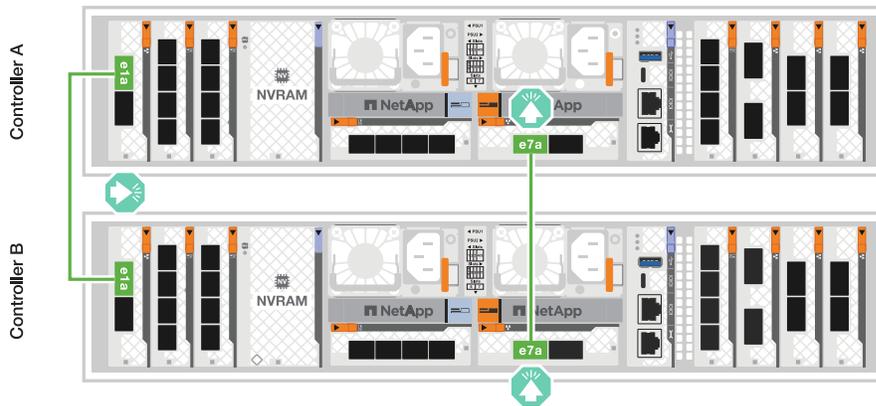
## スイッチレスクラスタのケーブル接続

クラスタ/ HAインターコネクトケーブルを使用して、ポートe1aとe1a、ポートe7aとe7aを接続します。

### 手順

1. コントローラAのポートe1aをコントローラBのポートe1aに接続します。
2. コントローラAのポートe7aをコントローラBのポートe1aに接続します。

### クラスタ/ HAインターコネクトケーブル



## スイッチクラスタのケーブル接続

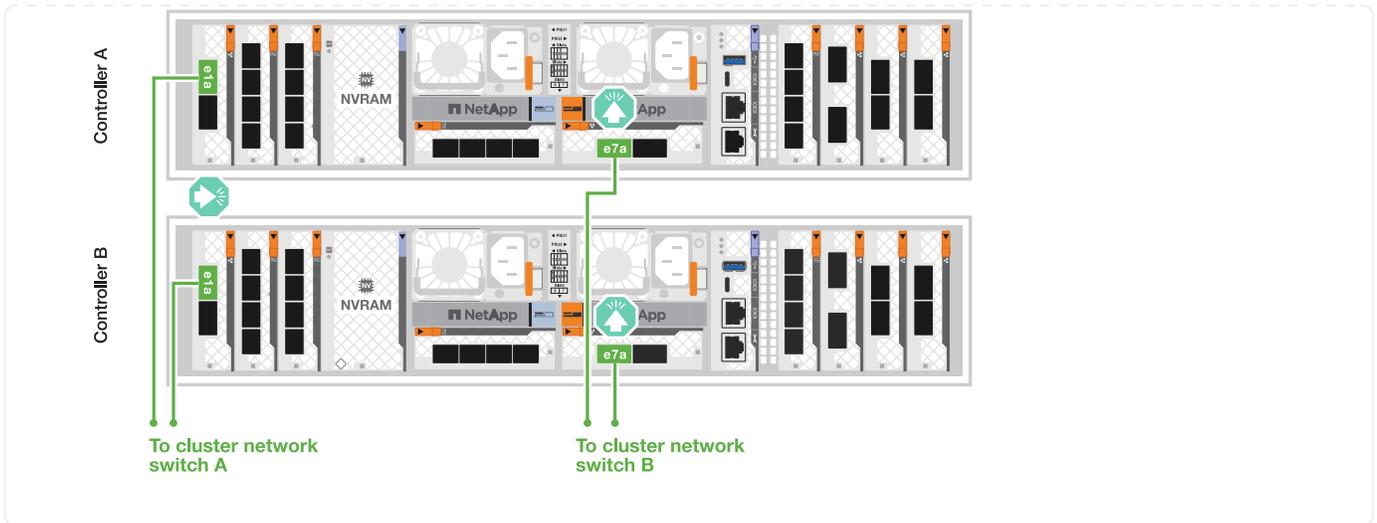
100 GbE ケーブルを使用して、コントローラ A と B のポート e1a と e7a をクラスター ネットワーク スイッチ A と B に接続します。

### 手順

1. コントローラAのポートe1aとコントローラBのポートe1aをクラスターネットワークスイッチAに接続します。
2. コントローラAのポートe7aとコントローラBのポートe7aをクラスターネットワークスイッチBに接続します。

- 100GbEケーブル\*





## 手順2：ホストネットワーク接続をケーブル接続する

イーサネットモジュールポートをホストネットワークに接続します。

次に、一般的なホストネットワークのケーブル接続例を示します。ご使用のシステム構成については、を参照してください "[NetApp Hardware Universe の略](#)"。

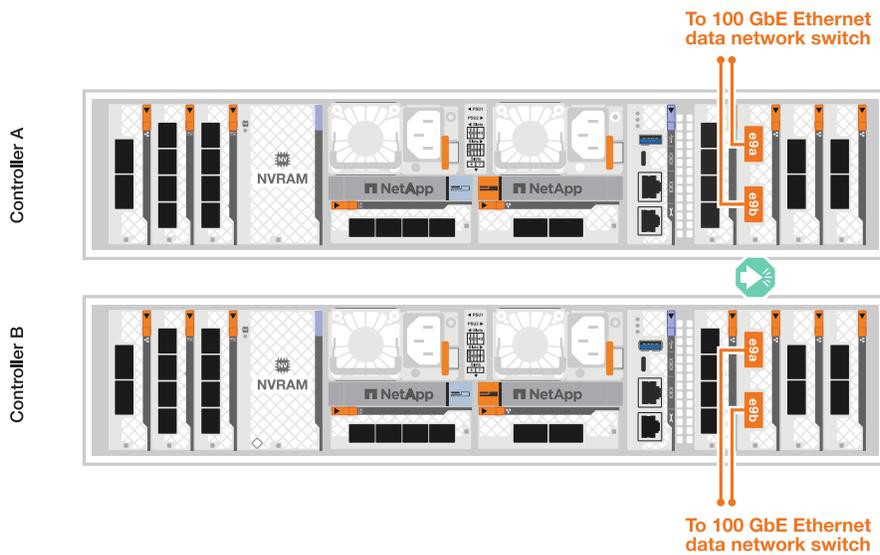
手順

1. ポートe9aおよびe9bをイーサネットデータネットワークスイッチに接続します。



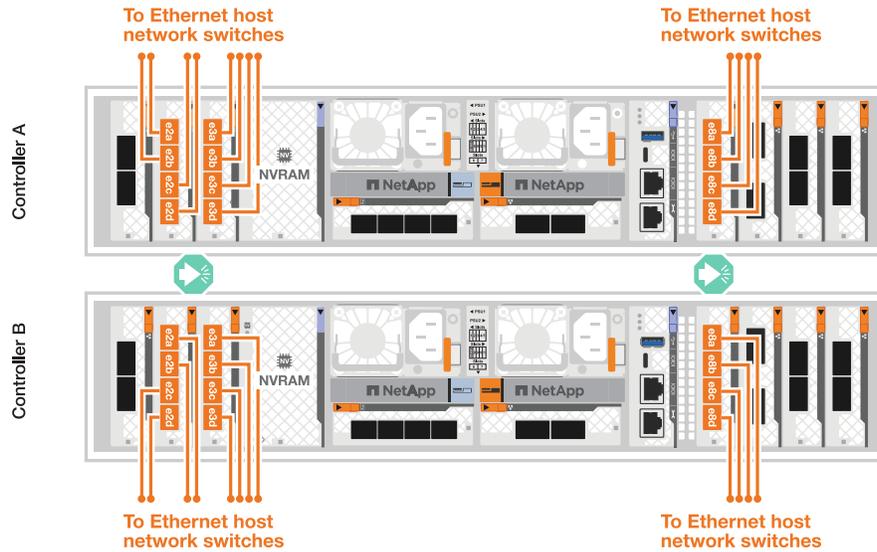
ホスト ネットワーク接続にはポート e1b および e7b を使用しないでください。別のホストカードを使用します。

- 100GbEケーブル\*



2. 10 / 25GbEホストネットワークスイッチを接続します。

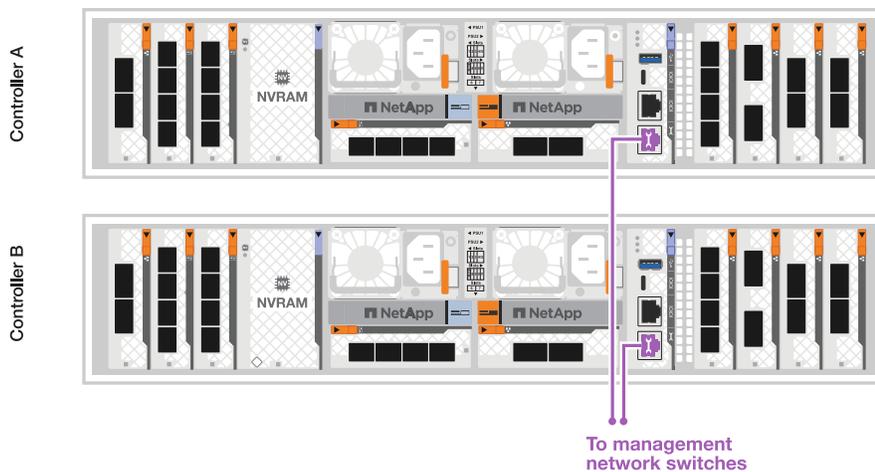
- 10/25GbEホスト\*



### 手順3：管理ネットワークをケーブル接続する

1000BASE-T RJ-45ケーブルを使用して、各コントローラの管理（レンチ）ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。

- 1000BASE-T RJ-45ケーブル\*



まだ電源コードを接続しないでください。

### 手順4：シェルフをケーブル接続する

次のケーブル接続手順では、コントローラをストレージシェルフに接続する方法を示します。次のいずれかのケーブル接続オプションを、ご使用の環境に合わせて選択します。

ストレージシステムでサポートされるシェルフの最大数、およびすべてのケーブル接続オプションについては、を参照してください"[NetApp Hardware Universe の略](#)"。

このタスクについて

AFF A1Kストレージシステムは、NSM100またはNSM100Bモジュールを搭載したNS224シェルフをサポートします。各モジュールの主な違いは次のとおりです。

- NSM100 シェルフ モジュールは、組み込みポート e0a および e0b を使用します。
- NSM100B シェルフ モジュールは、スロット 1 のポート e1a と e1b を使用します。

次の配線例は、シェルフ モジュール ポートを参照する場合の NS224 シェルフ内の NSM100 モジュールを示しています。

## オプション1：1台のNS224ストレージシェルフに接続

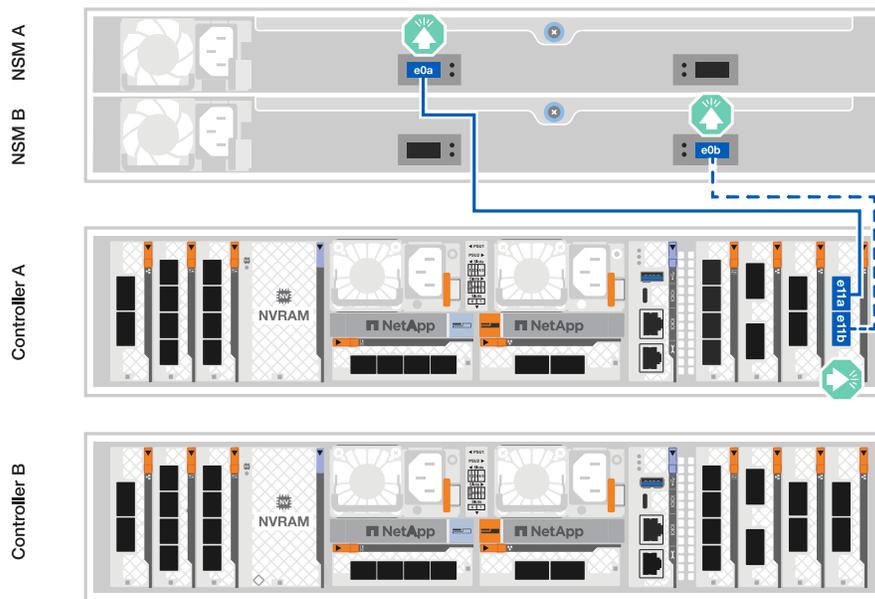
各コントローラをNS224シェルフのNSMモジュールに接続します。図は、コントローラAのケーブル配線を青で示し、コントローラBのケーブル配線を黄色で示しています。

- 100GbE QSFP28銅線ケーブル\*

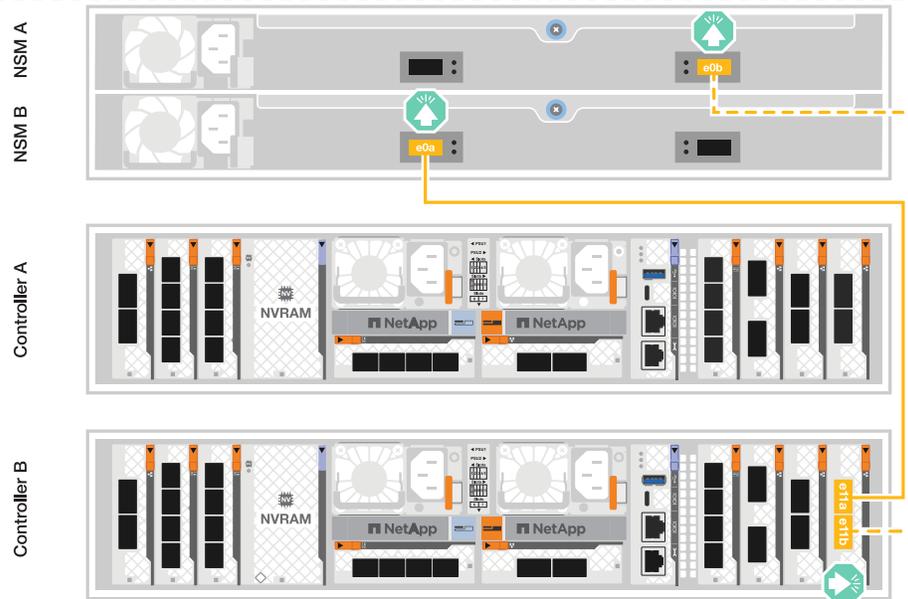


### 手順

1. コントローラAで、次のポートを接続します。
  - a. ポートe11aをNSM Aのポートe0aに接続します。
  - b. ポートe11bをポートNSM Bのポートe0bに接続します。



2. コントローラBで、次のポートを接続します。
  - a. ポートe11aをNSM Bのポートe0aに接続します。
  - b. ポートe11bをNSM Aのポートe0bに接続します。



## オプション2：2台のNS224ストレージシェルフに接続

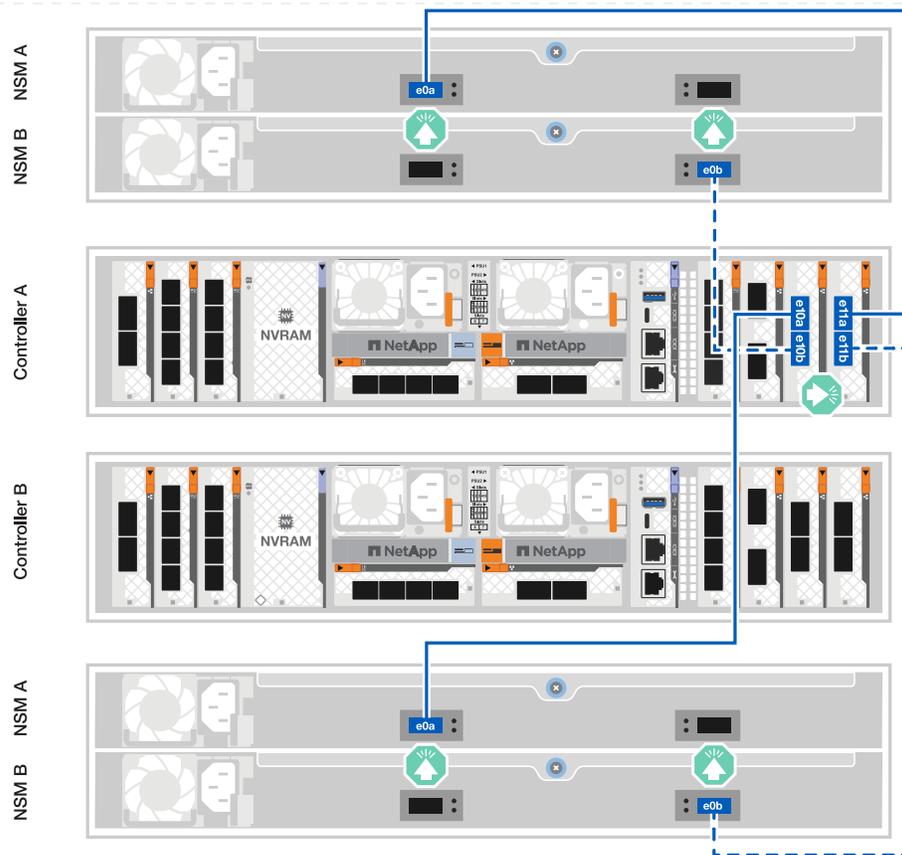
各コントローラを両方のNS224シェルフのNSMモジュールに接続します。図は、コントローラAのケーブル配線を青で示し、コントローラBのケーブル配線を黄色で示しています。

- 100GbE QSFP28銅線ケーブル\*



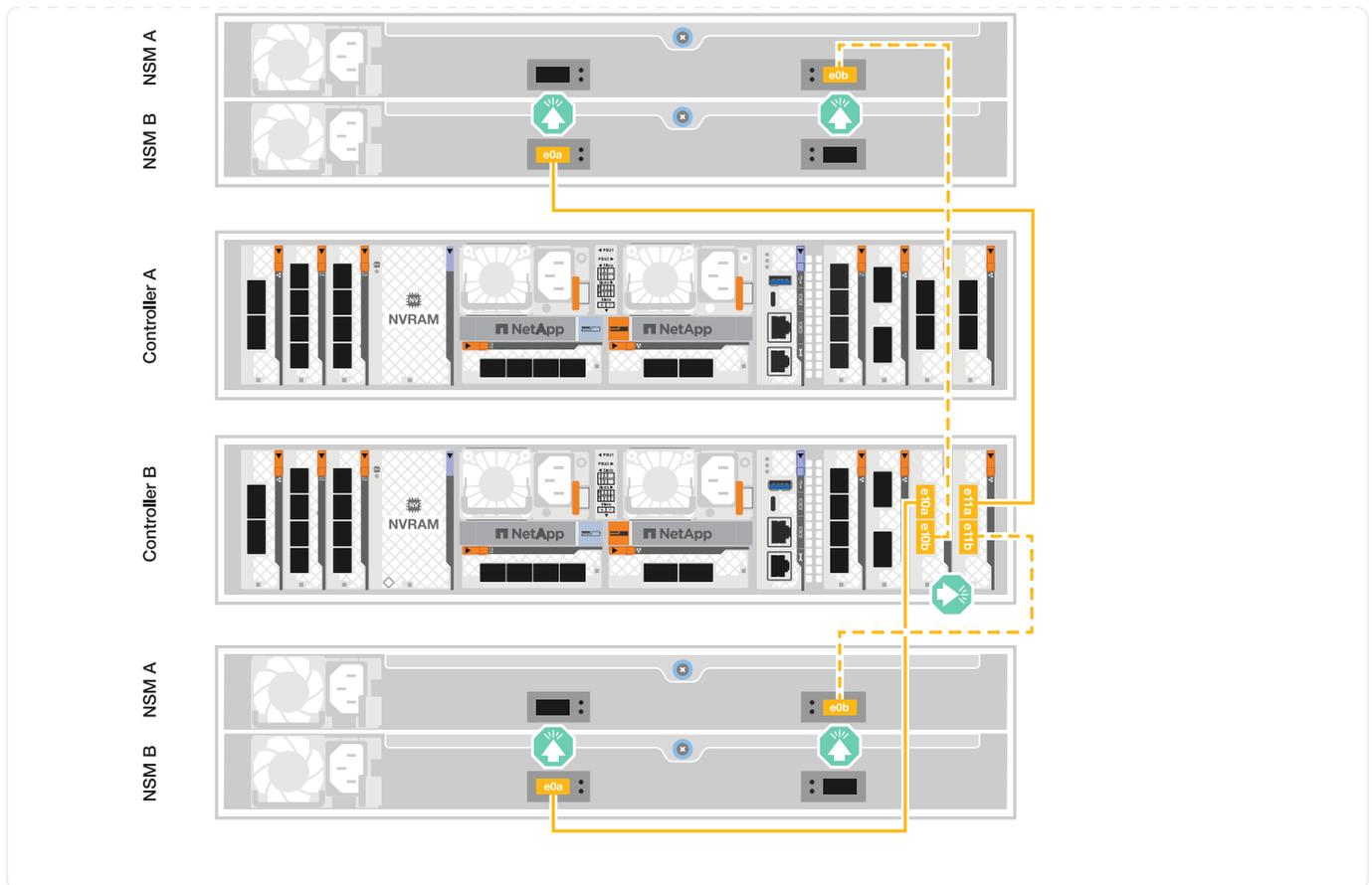
### 手順

1. コントローラAで、次のポートを接続します。
  - a. ポートe11aをシェルフ1のNSM Aのポートe0aに接続します。
  - b. ポートe11bをシェルフ2のNSM Bのポートe0bに接続します。
  - c. ポートe10aをシェルフ2のNSM Aのポートe0aに接続します。
  - d. ポートe10bをシェルフ1のNSM Aのポートe0bに接続します。



2. コントローラBで、次のポートを接続します。

- a. ポートe11aをシェルフ1のNSM Bのポートe0aに接続します。
- b. ポートe11bをシェルフ2のNSM Aのポートe0bに接続します。
- c. ポートe10aをシェルフ2のNSM Bのポートe0aに接続します。
- d. ポートe10bをシェルフ1のNSM Aのポートe0bに接続します。



次の手順

AFF A1Kシステム用のハードウェアのケーブル接続が完了したら、次"[AFF A1Kストレージ・システムの電源をオンにする](#)"の作業を行います。

## ストレージ・システムの電源をオンにします (AFF A1K)

AFF A1Kストレージシステムのラックハードウェアを設置し、コントローラとストレージシェルフのケーブルを接続したら、ストレージシェルフとコントローラの電源をオンにする必要があります。

### 手順1：シェルフの電源をオンにしてシェルフIDを割り当てる

各シェルフは一意的シェルフIDで識別されます。このIDにより、ストレージシステムの設定内でシェルフが区別されます。

作業を開始する前に

NS224のストレージシェルフIDを設定するためのペーパークリップまたは細いボールペンを用意してください。

このタスクについて

- 有効なシェルフIDは01~99です。

コントローラに内蔵シェルフ（ストレージ）が統合されている場合は、固定シェルフID 00が割り当てられます。

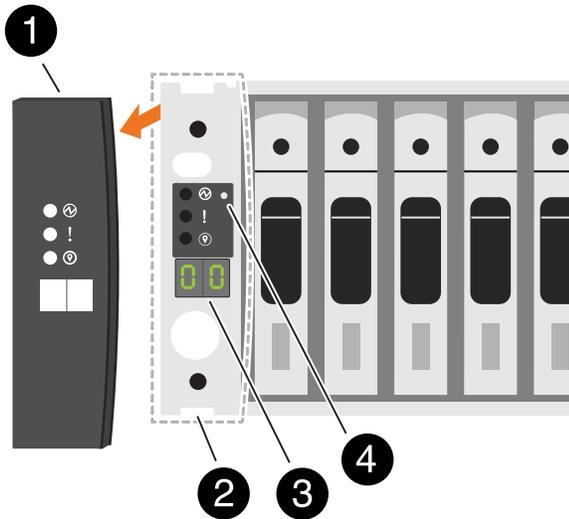
- シェルフIDを有効にするには、シェルフの電源を再投入する必要があります（両方の電源コードを取り外し、しばらく待ってから再度接続します）。

#### 手順

1. シェルフの電源をオンにするには、まず電源コードをシェルフに接続し、電源コード固定クリップで所定の位置に固定してから、電源コードを別々の回路の電源に接続します。

シェルフを電源に接続すると、シェルフの電源が自動的にオンになり、ブートします。

2. 前面プレートの後ろにあるシェルフIDボタンにアクセスするには、左側のエンドキャップを取り外します。



①	シェルフのエンドキャップ
②	シェルフ前面プレート
③	シェルフID番号
④	シェルフIDボタン

3. シェルフ ID の最初の番号を変更します。
  - a. ペーパークリップまたは先端の細いボールペンのまっすぐになった端を小さな穴に差し込み、シェルフIDボタンを押します。
  - b. デジタルディスプレイの1桁目の数字が点滅するまでシェルフIDボタンを押し続け、点滅したら放します。

点滅するまでに最大 15 秒かかる場合があります。これにより、シェルフ ID プログラミングモードがアクティブになります。



IDの点滅に15秒以上かかる場合は、シェルフIDボタンをもう一度押し続け、最後まで押します。

c. シェルフIDボタンを押して放し、目的の0~9の数字になるまで番号を進めます。

各プレスおよびリリース時間は、1秒ほど短くすることができます。

1桁目の数字は点滅し続けます。

4. シェルフIDの2番目の番号を変更します。

a. デジタルディスプレイの2桁目の数字が点滅するまで、ボタンを押し続けます。

数字が点滅するまでに最大3秒かかる場合があります。

デジタルディスプレイの1桁目の数字の点滅が停止します。

a. シェルフIDボタンを押して放し、目的の0~9の数字になるまで番号を進めます。

2桁目の数字は点滅し続けます。

5. 目的の番号をロックし、2桁目の番号の点滅が止まるまでシェルフIDボタンを押し続けてプログラミングモードを終了します。

点滅が停止するまでに最大3秒かかる場合があります。

デジタルディスプレイの両方の数字が点滅し始め、約5秒後に黄色のLEDが点灯して、保留中のシェルフIDがまだ有効になっていないことを通知します。

6. シェルフIDを有効にするために、シェルフの電源を10秒以上再投入します。

a. シェルフの両方の電源装置から電源コードを抜きます。

b. 10秒待ちます。

c. 電源コードをシェルフの電源装置に再度接続して、電源を再投入します。

電源コードが接続されるとすぐに、電源装置の電源がオンになります。LEDが緑色に点灯します。

7. 左側のエンドキャップを取り付けます。

## 手順2：コントローラの電源をオンにする

シェルフの電源をオンにして一意のIDを割り当てたら、ストレージコントローラの電源をオンにします。

手順

1. ラップトップをシリアルコンソールポートに接続します。これにより、コントローラの電源がオンになっているときのブートシーケンスを監視できます。

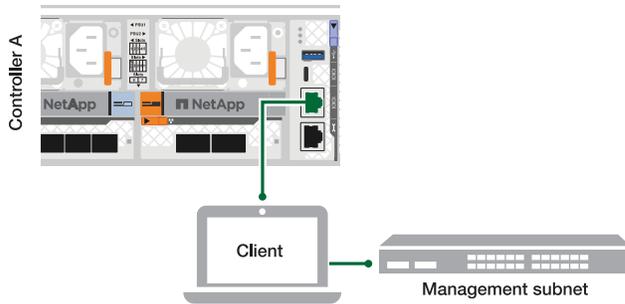
a. ラップトップのシリアルコンソールポートを115、200ボー（N-8-1）に設定します。



シリアルコンソールポートの設定手順については、ラップトップのオンラインヘルプを参照してください。

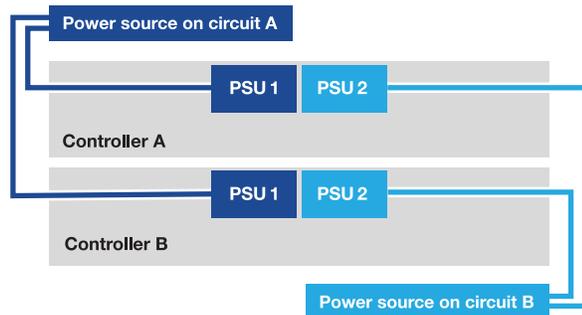
b. ストレージシステムに付属のコンソールケーブルを使用して、コンソールケーブルの一端をラップトップに接続し、もう一端をコントローラAのシリアルコンソールポートに接続します。

c. ラップトップを管理サブネット上のスイッチに接続します。



2. 管理サブネット上のTCP/IPアドレスを使用して、ラップトップに割り当てます。

3. 2本の電源コードをコントローラの電源装置に接続し、別々の回路の電源に接続します。



- システムがブートを開始します。初回のブートには最大で8分かかることがあります。
- LEDが点滅し、ファンが起動します。これは、コントローラの電源がオンになっていることを示します。
- ファンは最初に起動するときに非常にうるさい場合があります。起動時のファンの異音は正常。

4. 各電源装置の固定装置を使用して、電源コードを固定します。

次の手順

AFF A1Kストレージシステムの電源を入れたら、"[クラスターを設定する](#)"。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。